



# 輝き・やすらぎ・賑わいを みんなで築くまちづくり



あのをときを忘れないで「繁藤山くずれ殉職・殉職者追悼慰霊祭」42回忌

## 編集後記

今年度、光ケーブルが香北・物部・繁藤地区の一部エリアで敷設され、対象エリアでのインターネットの高速通信が可能となる。

今まで、あぜ道を歩いていたのが、いきなり、高速道路が出来たようなものである。今後のエリア拡大に期待したい。

しかし、色々と可能性は出来たが、これも単なるインフラ整備に過ぎず、どう活用していくかが肝心である。

住民の利便性向上はもちろん、企業誘致やI・Uターンの推進による人口増化策にも有効である。また、地域医療・介護など地区活動等に活用されている例もある。

議会としても、多くの先進地に学び、香美市に合った政策を提言していく必要がある。

合わせて、人と人が直接触れ合うことの大切さも忘れてはいけない。

今、日本青年会議所と共に「るくぶる」の藤田恵美氏を取り組んでいる「OMOIYARRI運動」が全国的に注目されている。

山田小学校の生徒達もこれに参加し「山田小学校版思いやり運動」を展開している。

他の小学校、そして、私たち大人もその心を、共に学び、感じることは素晴らしい事である。本市にある豊かな自然に加え、この「思いやりのある温かい心」を育て、素敵な香美市にしたいものである。最後に、議会だよりにおいても、思いやりの心を持って、見やすい紙面づくりに努めて行こうと思う。

(利根 健二)